

小形ニーダーによる混練り性評価のご案内

ゴム・エラストマー業界でコンパウンド作製に多く使用されています、加圧型ニーダー密閉式混練機を導入しました。配合の改良や材料変更時の混練り性や成形加工性の評価には、生産機を使用するのがベストですが、少量の材料で評価可能な本装置を用いることで、多様なスクリーニング等に活用できます。

また、CNTやCNF等の高価な配合剤の検討においても、小形ならではの経済性等のメリットが生かれます。

試験概要

密閉型チャンバーで、非噛合い形ロータを用いて、混練りします。

この装置は、冷却性が良好で練り温度が上昇し難く、また、混練り性が良い精密練りが可能であることが特徴です。

適用規格

JIS K 6299
ISO 2393

装置仕様

0.5L 加圧型ニーダー混練機
DS05-3GHH-E形 森山製作所(株)製

混練り容量：0.5L (400g程度)
主モーター：2.2kW

評価事例

- ・ 一般ゴム配合の混練り
- ・ ポリマーブレンド
- ・ シリカ・カップリング剤配合の反応練り
- ・ ナノ材料等の精密練り
- ・ 低粘度ゴム配合の混練り
- ・ 加硫系配合剤等のマスターバッチ化
- ・ 樹脂コンパウンド作製
- ・ 金属・セラミック配合コンパウンド作製



0.5L ニーダーの外観



チャンバー内部



一般財団法人 化学物質評価研究機構
Chemicals Evaluation and Research Institute, Japan

名古屋事業所

〒466-0858 愛知県名古屋市昭和区折戸町4-1
TEL:052(761)1185 FAX:052(762)6055
URL <http://www.cerij.or.jp>